

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			学習する空間と遊びの空間を分ける十分なスペースがある。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			送迎時でも常に2人以上、指導訓練室に職員配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3		1	玄関に段差があるが、中段を設置して安全のための配慮をしている。 室内の段差などもなく安全面の配慮をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			会議等を利用して職員間で共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者のニーズを把握し、より良い支援のため業務改善に心掛けている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		評価の結果を踏まえ日々の活動の様子をホームページ等で公開している。 日々の活動はInstagram等(会報)に載せている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4			第三者委員・相談支援専門員の評価を聞く機会を設けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			感染予防・災害対応・虐待防止・身体拘束禁止・5領域の内容を踏まえた個別支援等の話し合いをしている。 年間スケジュールに沿った研修を計画的に行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			スキップ（児童発達支援）からの指導員なので保護者と良い関係を築けていると思う。 必要に応じて面談をして、個別支援計画の作成をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			行動分析をして適宜対応している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			月に数回（2週に1回または必要な時）、ケース会議の中で話し合う機会を設けている。

					ミーティング時や活動の前日・当日に職員同士で話し合う機会を設けている。 月ごとで活動プログラムや個別で取り組む課題をチームで話し合っている。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			年間・月間のスケジュールを過去のものとして照らし合わせて日々修正をしている。 季節ごとに応じた活動や個別課題を見直した取り組みになっている。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			課題をきめ細かく設定し、常にレベルアップできるプログラムにしている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			個別活動と集団活動の内容を明確にした支援計画になっている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝のミーティングで送迎や支援について話し合いをしている。 個々のお子様の利用日の前日に、個別支援の課題の準備と集団活動の役割分担を職員間で話し合っている。また、当日に再確認を行っている。 支援開始時に必ずではないが、適宜打ち合わせは行っている。役割分担は支援中も確認し、連携をとりながら進めている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			勤務終了前に、その日の反省などを話し合える場を設けている。 支援記録と連絡ノートへの記入の際、職員間で支援の振り返りを行っている。 支援終了後に必ずではないが、適宜打ち合わせを行っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			個々の記録を毎回同じ職員が記入することがないように配慮をしている。 日々のノートや支援記録を参考にして支援への検証・改善につなげている。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			定期的にモニタリングを行い個別支援計画に活かしている。 ミーティング時の話し合いを参考にして支援計画の見直しをしている。 中間評価等を行い保護者に説明した上で支援計画の見直しをしている。
---	--	---	--	--	---

	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4			個々の能力に合わせた支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			常に児童発達支援管理責任者が参画している。 職員間で情報共有をしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			保護者・学校の要望があれば学校訪問をして情報共有等をしている。 下校時間の確認等を常に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				当施設は、重症心身障害施設以外のため該当しない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			スキップ（児童発達支援）を利用のお子さまの情報共有をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1		現在高校生が利用していないため、事例がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2		他事業所に通っている児童の様子を聞いたり支援内容を確認して支援の参考にしている。 オンライン研修を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		1	今後交流機会を増やしていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2		今後積極的に参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			日々の連絡ノートや中間評価を通して相互理解を深めている。 送迎時などの引き渡しの際に様子を伝えたり相談に応じたりする。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			面談や送迎時などで気付いたことを伝えている。 年に2回、保護者交流会を行っている。
保護	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			ご契約時に丁寧に説明をしている。

者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			面談に悩みごとの相談を受けた際には、必要な助言をしている。 送迎時に相談を受けることがあり、必要な助言と支援を行っている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			保護者交流会を年2回程度開催して保護者同士の交流の場を設けている。 その際、支援に役立つ情報の勉強会を設けている。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			子どもや保護者からの相談や申入れには、迅速かつ適切に対応している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			行事予定を発信している。 長期休暇前には行事予定を配布している。 HP・SNSも頻繁に更新し活動の様子も配信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			ホワイトボード（送迎表）の順番を気にする児童がいるので対応を考えていきたい。 個人情報同意書をもって、保護者へ説明して個人情報の取り扱いには十分注意を払っている。 個人情報の取り扱いを職員同士徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			支援方法・課題の取り組み方法を分かり易く説明している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1		保護者交流会では、保護者の知人も招待している。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			業務継続計画（BCP）を作成して研修等で勉強会を開催して訓練を実施している。 各マニュアルを策定し勉強会を開き訓練をしている。 訓練の実施で改善する箇所をマニュアルに反映させている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			避難具の点検整理をして、避難訓練の準備をしている。 定期的に避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止に向けた研修会を定期的に行っている。

	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			身体拘束が必要な児童がいない。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			食物アレルギーに関する同意書を契約時に提出している。 食物アレルギーをもつ児童が、現在いない。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		ヒヤリハット報告書を作成して共有している。